



第
77
号

発行日：2023年1月1日
 発行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
 (大津市地球温暖化防止活動推進センター)
 住所：〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津4階
 電話：077(526)7545
 フォーラムHP: <https://eco-otsu.net>
 Eメール(事務所): forum@eco-otsu.net



会員 三階堂義孝氏の木工絵馬

<事務局長から> 新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、よい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症第8波が猛威を振っていますが、環境塾、自然家族事業、温暖化防止対策事業等は皆様のご協力でほぼ計画通り実施できました。残る事業の実施と次年度計画策定に鋭意取り組んでおり、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。 会員数 120名 (2022年12月末現在)

トピックス

○ 自然家族事業 里の日②を開催しました

さわやかな活動日和の10月22日、大將軍2丁目の畑で自然家族事業 里の日②を開催し、5月に苗植えをした10家族のうち欠席1家族を除く30人がサツマイモを収穫しました。

あいさつと収穫の実演・解説の後、開催前にスタッフがつる切りをしておいた畑で、家族ごとに自分たちが植えたサツマイモを掘り出しました。スタッフによる植え付け後5か月間の水やりや草引き作業、追肥作業のおかげか、収穫量は例年より多く、大きい芋がたくさん収穫できました。中には自分の頭ほどの大きさの芋を掘り出した子も。収穫の後は、スタッフが焚火で焼いたおいしい焼き芋をみんなで食べました。大きな袋でも入りきれないほどの収穫を、皆さん持ち帰ることができました。



○ おおつ市民環境塾講座6「大津市北部クリーンセンター施設見学会」を開催しました

11月12日、コロナ禍拡大のせいか多くの欠席者がありましたが、27人の参加を得て、大津市伊香立の北部クリーンセンターでおおつ市民環境塾 講座6の施設見学会を開催しました。

研修室でDVDによる施設についての説明を受けた後、2022年7月に稼働したばかりのごみ処理施設を見学コースから見学し、受け入れピットや、選別コンベヤ、焼却炉など主要設備の説明を受けました。新しい焼却施設は焼却時の熱を利用して、一般家庭8,000戸分の電力を発電しているそうです(写真下)。見学コースの途中にはごみ分別ゲーム機が設置され、また人力発電の体験ができるようになっていました。研修室に戻っての質疑応答の時間には参加者から熱心な質問が数多く寄せられました。ここはごみが集まる施設ですが、敷地にごみ一つ落ちてなく美しく維持されていました。



○ 自然家族事業 里山の日2「ドングリをひろって遊ぼう」を開催しました

穏やかに晴れた11月19日、春日山公園で自然家族事業 里山の日2「ドングリをひろって遊ぼう」を開催し、コロナの影響で2家族が欠席でしたが7家族21人が参加されました。

駐車場に集合し、あいさつをした後、ヤマハゼの紅葉やフユイチゴの実を見たり、ドングリ拾いをしたりしながら秋深まりつつある公園内をピオトープ横の広場まで移動しました。広場では、家族ごとにピクニックテーブルに座り、ホットポンドを使ってスタッフが用意した木の実や木の葉でクリスマスリースを作ったり、ドングリゴマやドングリ人形を作ったりしました。作ったドングリゴマでコマ回しも楽しみました。そのあとみんなで各テーブルを回り、作品を鑑賞しあいました。最後に各自作品を持って記念写真を撮りました。参加者全員が自然の中で秋の楽しみを体験しました。



○ 地球温暖化防止事業「電気自動車講座」を開催しました

10月29日、生涯学習センターに日産自動車株式会社西日本エリアパフォーマンスマネージャー天野主税氏をお招きして「電気自動車講座」を開催し、14人が参加されました。

車の電動化は地球温暖化・気候危機回避のために必須です。その大きな1歩となる軽クラスEV(電気自動車)が日産自動車と三菱自動車から発売され話題となりました。そこで、EVの経済性や課題などをお聞きすることにしました。サクラの場合、車両価格は補助金を利用して高価ですが、電費(燃費)は3.60円/kmで、オイル交換が不要など維持費が安く、十分競争に耐えられそうです。加速性能や静粛性などは非常に優れているのも利点です。1回の充電で走れる距離が限られる、充電時間が長いなど課題もありますが、自宅で充電できるのは大きなメリットです。多くの参加者から盛んに質問があり、関心の高さがうかがえました。化石燃料が使えない時代が迫っている今、EVは一番の選択肢として浮かび上がってきました。



プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

「ビオトーププロジェクト」

10月30日、北大路どろんこトープの橋架け替え作業をしました。7本の木材の内、完全に腐敗していた1本は細い木材で代用して、夏休みの晴嵐児童クラブの2日間の活動は実施しました。しかし、他の材も部分的に腐敗していて、このままでは危険なので、架け替えることにしました。作業は、古い橋を撤去して橋の基礎を補修し、新たに枕木を設置。橋の木材を7本並べて木ねじで固定して完成。渡り初めをして終了しました。



「生ごみリサイクルプロジェクト」

12月16日、市民活動センターで7人が参加して生ごみ堆肥化資材のボカシを10個作りしました。

「エネルギープロジェクト」

脱炭素啓発小冊子「CO₂排出0への挑戦」第4巻のテーマを電気自動車に決め、具体的な内容検討を開始しました。今年度中に編集作業を完了する予定です。

事業者向け脱炭素経営支援セミナー

- 日時 1月19日(木)14:00~16:00
- 会場 コラボしが21 中会議室1 参加費無料
- 演題・講師
 - ・「なぜ今、脱炭素経営が求められるのか」
環境省近畿地方環境事務所地域適応推進専門官 米田幸生氏
 - ・「脱炭素経営支援の取り組みや補助制度などの紹介」
近畿経済産業局新エネルギー推進室室長補佐 廣戸貴義氏
 - ・「大津市センターにおける企業支援の取り組みについて」
- 申込 info@otsu.ondanka.net または ☎077-526-7545

「里山保全プロジェクト」

11月18日、春日山ビオトープの休憩所周りを5人で整備。12月3日、春日山万葉ゾーンで5家族13人とスタッフ6人で、落葉を集めてカブトムシ産卵床づくりをしました。12月9日には、3年前に春日山公園で採種し、袋撒き後プランター育成したササユリ球根を5人で新たなプランターに移植しました。



■これからのフォーラム活動

※COVID-19の感染状況により変更になることがあります。

プロジェクト等の名称	日時	場所・内容
プロジェクト		
ビオトープづくり	1月15日(日) 9:00	春日山ビオトープ//生き物調査、補修整備
里山保全	1月11日(水) 10:00	ハッシュタグ大津京//例会
	1月16日(月) 9:00	春日山公園//例会
	2月4日(土) 9:00	春日山公園//例会
エネルギー	1月10日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	1月10日(火) 13:30	市民活動センター//再エネ勉強会
	2月7日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
委員会・実行チーム		
おおつ市民環境塾実行チーム	2月1日(水) 10:00	大津市センター//会議
自然家族事業実行チーム	1月27日(金) 15:00	大津市センター//会議
おおつエコフェスタ実行チーム	2月3日(金) 15:00	大津市センター//会議
里湖づくり事業実行チーム	1月12日(木) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター・湖岸//調査活動
	1月16日(月) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター・湖岸//湖底耕耘
	2月8日(水) 15:00	琵琶湖環境科学研究センター//里湖づくり協議会

*大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）